件名

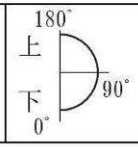
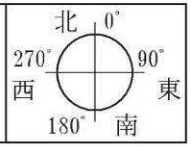
場所

孔番

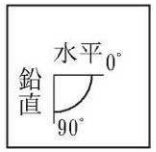
孔口深度基準点の高さ　　m

基準点と孔口との比高　　m

ボーリング掘削方向

角度	方向
	

地盤勾配



使用機械

試錐機

エンジン

ポンプ

ハンマー落下装置

氏　　名

作業責任者

野帳記入者

野帳記入ページ　　pp.　　～

〔ボーリング地点オフセット〕

ボーリング野帳（土質用）

孔番　　件名(略称)　　平成　　年　　月　　日　　天候

設計深度　　m　　本日掘進長　　m　　累計深度　　m　　作業時間　　～　　作業人員　　人

孔内水位　G.L.－　　m(測定時刻)　　(測定条件)

標尺	深度(m)	ケーシング掘削孔径	土質記号	土質名	色調	原位置試験と試料採取									記事
						方法とNo.	深度(m)	5又は10cm毎の打撃回数						N値(回/cm)	
								5	10	15	20	25	30		

写真チェック(○で囲む)　全景,ＳＰＴ,残尺,検尺,他(　　)　　跡片付けチェック,(○で囲む)　ヤグラ,エンジン,シート,水,小道具,火,(　　)

ボーリング野帳（土質用）

孔番　　件名(略称)　　平成　　年　　月　　日　　天候

設計深度　　m　　本日掘進長　　m　　累計深度　　m　　作業時間　　～　　作業人員　　人

孔内水位　G.L.－　　m(測定時刻)　　(測定条件)

標尺	深度(m)	ケーシング掘削孔径	土質記号	土質名	色調	原位置試験と試料採取									記事
						方法とNo.	深度(m)	5又は10cm毎の打撃回数						N値(回/cm)	
								5	10	15	20	25	30		

写真チェック(○で囲む)　全景,ＳＰＴ,残尺,検尺,他(　　)　　跡片付けチェック,(○で囲む)　ヤグラ,エンジン,シート,水,小道具,火,(　　)

ボーリング野帳（土質用）

孔番　　件名(略称)　　平成　　年　　月　　日　　天候

設計深度　　m　　本日掘進長　　m　　累計深度　　m　　作業時間　　～　　作業人員　　人

孔内水位　G.L.－　　m(測定時刻)　　(測定条件)

標尺	深度(m)	ケーシング掘削孔径	土質記号	土質名	色調	原位置試験と試料採取									記事
						方法とNo.	深度(m)	5又は10cm毎の打撃回数						N値(回/cm)	
								5	10	15	20	25	30		

写真チェック(○で囲む)　全景,ＳＰＴ,残尺,検尺,他(　　)　　跡片付けチェック,(○で囲む)　ヤグラ,エンジン,シート,水,小道具,火,(　　)

ボーリング野帳（土質用）

〔原位置試験等の記号凡例〕

記号	原位置試験等の名称
P	標準貫入試験
K	孔内水平載荷試験
P_T	現場透水試験
P_W	間隙水圧測定
T	シンウォールサンプリング
D	デニソンサンプリング
S	サンドサンプリング

砂地盤の場合		
N値	相対密度	
0～4	非常にゆるい	極緩
4～10	ゆるい	緩
10～30	中位	中
30～50	密な	密
50以上	非常に密な	極密

粘土地盤の場合		
N値	相対稠度	
0～2	非常に軟かい	極軟
2～4	軟かい	軟
4～8	中位	中
8～15	硬い	硬
15～30	非常に硬い	極硬
30以上	特別に硬い	堅

〔野帳及び日報土質記号凡例〕

表土，埋土，盛土，耕作土（（　）書きで記入する。）
〔例〕 礫混り砂（埋土）
実際の土質記号を記入する。

礫
砂
シルト
粘土
砂質
シルト質
粘土質
礫混り
砂混り
シルト混り
粘土混り
砂礫
砂岩
泥岩
凝灰質
軽石

有機物（腐植物）
貝殻
サンドパイプ
○○ローム

組合せ例

砂質粘土
シルト質粘土
礫混り粘土
シルト混り粘土
粘土混り砂
凝灰質粘土
軽石混り凝灰質粘土
有機物混り粘土
貝殻混り砂質粘土
粘土（サンドパイプを含む）
腐植土